

中執ニュースレター No.9

2005年10月25日発行
東京農工大学職員組合 中央執行委員会

10月号の内容

定期大会の開催に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第14回中央執行委員会の報告・・・・・・・・・・・・	1
図書館長交渉の報告・・・・・・・・・・・・・・・・	2
『組合 ポーリング大会』のお知らせ・・・・・・・・	3
「役職員の給与」に関する 大学経営側の説明の骨子・・・・・・・・・・・・	3
「みんなでサッカーを見に行こう！」報告・・・・	4
「組合 サッカー」観戦記・・・・・・・・・・・・	5
9・10月の活動・・・・・・・・・・・・・・・・	6
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・	6

定期大会の開催に向けて

温かな秋が続いております。いかがお過ごしでしょうか。

職員組合は毎年12月に定期大会・支部総会を開催してきていますが、今年も定期大会まであと一ヶ月余りとなりました。中央執行委員会は、定期大会の開催に向けて役員の改選を進めるべく動き出しました。支部ごとに役員の大まかな割り振りを行い、各職場に対して役員の推薦を依頼する予定です。

今、大きな課題は給与見直し問題です。大学経営側は、組合に対する「役職員の給与」説明会で、人事院勧告通りの引き下げ案を示しました。中央執行委員会は、組合員皆様のご意見をお聞きして、これから経営側との交渉に臨みます。

職場における討議と役員推薦に、皆様のご理解とご協力をお願いします。

第14回中央執行委員会の報告

第14回（10月11日開催）中央執行委員会の議事について報告します。

（1）定期大会について

2005年定期大会を12月初めに開催することとし、それに向けた役員改選、議案書作成などの日程について、検討しました。11月初めには役員選出のための職場

会を開催するよう両支部に依頼することにしました。

(2) 組合に入ろう！キャンペーンについて

秋のイベントとして企画した「サッカー観戦」と「ボーリング大会」について、内容を検討しました。ボーリング大会(11月11日開催)については、後段のお知らせをご覧ください。

(3) 支部規約・会計関係規約の改正について

昨年度は組合規約の改正を行いました。今年度は支部規約や会計関係細則の見直しを進め、定期大会と支部総会で提案することとしました。中央執行委員会で作成する原案について職場会等で討議していただく予定です。

(4) 技官の会からの意見について

小金井支部の技官の会から出された次の意見について、対応を検討しました。

細則の見直しでは、技官の会の細則が必要ではないか。

超過勤務報告書に学科長の確認印が必要になった経緯について知りたい。

大学が作成している内線・電子メール一覧の役職名の覧に、技術職員が「係員」と記されているのはなぜか。

その他の議題は次の通りです。 図書館長交渉について、 人事院勧告の学習会について、「役職員の給与」説明会について

図書館長交渉の報告

図書館長交渉を10月19日(水)府中図書館長室で行いました。図書館からの出席者は柏木図書館長、小平田学術情報TL、組合からは久野中執委員長他5名が出席しました。概要を報告します。

組合は、(1) 図書館職員の人員について、退職者の補充では正規職員を配置するよう本部に対して要求してほしいと、要望しました。

これに対して図書館長は、図書館は大学の基盤インフラであると理解している、図書館を充実するか否かは大学の盛衰に直結する重大な問題で、今その岐路にあるのではないかと考えている。大学がシュリンク(縮小)する方向では、今後の発展は望めない、と述べ、評議会等ではそのような話をしたい。人員の確保については、早速要望書を出すように検討したい、と述べ、図書館職員の確保に積極的に取り組むことを約束しました。

組合は次に(2) 他部局との人事交流について、制度として性急な導入は行わないことや、人事異動にあたっては本人の意向を十分尊重するよう、要望しました。

これに対して図書館長は、人事交流の意味を否定はしないが、図書館の専門職以外が入ってくれば、サービスが低下することは確実だ、と述べました。また、人事交流については今後十分議論したい、と回答しました。

組合は、(3)総合情報プラザ構想について、図書館はどのような位置づけで、どのような協力をする事になっているのか、尋ねました。

これに対して図書館長は、図書館は継続性と蓄積が求められる部局で、メディアセンターのような機動的な部門とは質的に異なっているので、本来分けて考えるべきものだ、との見解を示しました。また、自己点検評価では、数字を出してアピールしていきたい。同時に職員の減少についてもデータを整備することを考えたい、と学内理解に向けて努力したいと述べました。

組合 ボーリング大会」のお知らせ

今年もあっという間に秋になり、冬の足音が近づいてきました。そこで組合では、年忘れ？ボーリング大会を開催致します。組合未加入の方もご家族の方も参加出来ますので、みなさま奮ってご参加下さい。(賞品も出ます。お楽しみに！)

【日時】 11月11日(金) 18時30分試合開始(時間厳守)
20時00分試合終了

1名当り2ゲーム行います

試合終了後、表彰式があります

【場所】 国分寺パークレーン
(国分寺市本多2-3-1 TEL:042-321-3231)

【費用】 貸し靴代300円のみ参加者負担

【申込方法】 先着32名までとなります
府中組合事務室へメールもしくは電話にてお申し込み下さい
当日は現地集合でお願い致します

役職員の給与」に関する大学経営側の説明の骨子

10月21日、職員組合に対する「役職員の給与」説明会がありました。大学経営側は山本理事他3名、組合側3名が出席しました。説明会の概要について報告します。

まず、山本理事から平成17年人事院勧告の概要と本学の対応について、次のような説明がありました。

今回の給与改定は法人化後初めてのケースである。人事院勧告は出されたが、我々は公務員ではないので、給与は基本的に独自で決められる。しかし、独立行政法人の準用通則法および閣議決定を踏まえ、平成17年度人事院勧告に準拠して給与の改定を行いたい。これは、本学に投入されている税金が予算の65%を占め、公的セクターであることを踏まえたものである。本年度の給与改定で発生する約600万円の余剰金

については、平成18年度～19年度（いわゆる18年度危機）の人件費不足分に充当することを想定している。

さらに、本学の具体的検討として、次のように説明しました。

平成17年度の給与については、本学就業規則にある給与表を改正することなく、実施する。ただし、職員には十分説明する。

平成18年度以降の給与構造の見直しで、導入される地域給についてはキャンパス間に差が生じないように配慮し、10%～12%で調整したい。

仮に、平成17年4月からの官民格差、平均17,000円を是正しない場合は、実質的に職員給与が引き上げ（配偶者手当なしの人で平均10,000円）になるので、対外的に説明がつかない。

4月に遡っての官民格差の是正については、不利益変更を遡及して実施することに対する違法性が指摘されていることから、実施しない大学も出るだろう。

これに対して、組合は次のような意見を述べ、団体交渉を要求しました。

不利益変更を4月に遡及して実施することに対しては違法判例もあり、問題だ。大学職員の給与水準が一般の国家公務員行政職に比べて低いという状況を認識していないのではないか。

人事院勧告の調査で用いているデータに偏りがあり、勧告自体に疑問がある。平成17年度と18年度以降の変更を同時に議論できないので、分離して考えるべきだ。

平成17年度の剰余分を平成18年度以降に回すことが担保されるのか。

教員の評価システムについて何も出ていない状況では、18年度給与構造の変更実施は難しいのではないか。

農工大で導入を決めた事務職員の人事評価システムとどのように整合させるのか。

今後、中央執行委員会は組合員皆様の意見を集約して、大学経営側と交渉を進めていきます。ぜひ皆様のご意見をお寄せ下さい。

「みんなでサッカーを見に行こう！」報告

10月15日(土)組合に入ろうキャンペーンのファイナルイベントとしてサッカー観戦を行いました。組合の企画でスポーツ観戦は久しぶりです。前回私が執行委員だった10数年前は西武球場でのナイターが恒例でした。けれど今時はやはりサッカーです。ましてこんな近くにサッカースタジアムがあるのですから。選ぶチームはこの近辺の熱いサポーターに支えられているFC東京です。対戦カードはサンフレッチェ広島です。参加人数は20名でした。当日は天気にも恵まれ時折日差しがまぶしいくらいでした。

そして15:00キックオフです。試合展開は双方ともに守備が固く我慢の展開でした。FC東京はなかなかFWルーカスにつながらず決定的チャンスもないまま前半終了です。ところが後半は一転して点の取り合いになりました。激しい試合展開に見ている私たちも興奮してきました。ピークはやはりFWルーカスに代わりササが投入されました。サポーターから「サッカー、サッカー」の歓声があがり、にわかサポーターの私もまわりにつられ一緒に叫んでいました。双方2点ずつ取りその後も一進一退の攻防でしたが、結局試合は2対2の引き分けでした。見ていて楽しい試合でした。

観戦した席はピッチに近く見やすい席でしたが、自由席のため参加していただいた組合員の方たちと一緒に観戦出来なかったのが残念でした。

(中執委員 坂本真一 記)

組合「サッカー」観戦記

F Sセンター 相田政昭

10月15日午後3時キックオフ・FC東京対サンフレッチェ広島戦を観戦しました。当日の参加者は、伺ったところ20名位とのことでした。

私は執行委員の坂本さんと一緒に観戦しました。席はピッチに近く、臨場感があふれ選手が身近に感じられました。試合経過は前半両チームとも様子見の展開でチャンスはつくるものの0 - 0で進み坂本さんのイライラが増し、ビール2杯を飲み干しました。後半に入り両チームともメンバーチェンジがあり、サンフレッチェが先制点を入れてFC東京が追いつく展開で、FC東京のFWがルーカスからササに変わって得点し、1 - 1になった時が一番盛り上がり、坂本さんと2人でテンションは最高潮に達しました。この時坂本さんのビールは3杯が空になっていました。その後、両チーム1点ずつ取り合う展開で最終的2 - 2の同点引き分けで終わりました。ちなみに試合終了時点で坂本さんのビールは4杯目が空になっていました。とても楽しく観戦できました。できれば来年も企画してほしいと思います。



9・10月の活動

- 9/16 小金井支部細則の見直し
- 9/21 小金井女性委員会・新組合員歓迎会
- 9/26 小金井技官の会
- 10/6 会計関係規則の見直し
- 10/11 第14回中央執行委員会
- 10/19 図書館長交渉
- 10/21 役職員給与説明会

編集後記

私、今年1月より組合の事務をしております江原と申します。
組合にお世話になるきっかけは5～6年前、農工大の同窓会にいる友達から、ある研究室のお手伝いの仕事（一ヶ月の契約）があると聞いて、短期間でもあるし、大学の研究室ってどんな所かおもしろそうだと思い、出かけたところ採用され働かせて頂いていました。そして去年、組合のお話がありました。仕事も簡単で時間の制約も短いとお聞きしていましたのでお仕事をさせて頂くことに。
ところが仕事は簡単どころか、私にとって初めてのことだらけ！！ 実は私今までに事務の仕事など一切経験が無く、こんなはずでは・・・という思いが最初の頃はありました。（今も?!）しかし、頼もしい先輩の書記さん、中執の委員の方々にご指導頂き、ご迷惑をお掛けしながらも頑張っていますので、不手際等も多々ありますが組合員の皆様、今後ともよろしくお願い致します。

（江原洋子）

発行 2005年10月25日
東京農工大学職員組合中央執行委員会
TEL: 042-367-5797 (府中)
042-388-7202 (小金井)
E-mail: kumiaif@cc.tuat.ac.jp
HP: www.tuat.ac.jp/~kumiai/index.htm